

(6) 外出している家族との連絡

災害用伝言ダイヤル（171）でお互いに連絡を取り合う。

携帯電話でお互いに連絡を取り合う、あるいは、災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板サービスを使う。

（36ページ参照）

- ★ 固定、携帯電話、スマホの「災害用伝言ダイヤル（171）」や、携帯電話やスマホの「災害用伝言板サービス」に登録して、これを使ってお互いに安否を知らせあうことができます。

（参考） 災害用伝言ダイヤル（171）にダイヤルすると、あとは音声ダイヤルにしたがって伝言の録音、再生ができます。

たとえば、外出している家族が職場の電話を使って自宅の電話番号に、「ケガもなく大丈夫、落ち着いたらまた伝言します」といったメッセージを残すことができます。自宅の電話から家族の職場の電話に、「子供も無事、家もたいした被害はありません。気をつけて帰ってきてね」などと伝言をすることができます。ただし、できるのは伝言だけで、会話はできません。

また、なによりも電話が機能していることが前提です。

- ★ 多くの人が携帯電話で連絡を取り合おうとするでしょう。携帯電話が通じれば、単に伝言をするだけではなく、会話をすることができる、家から離れていても連絡ができるなど、いろいろな利点があります。

ただし、地震が起こったときは、多くの利用者が殺到して使うために、回線が飽和したり、また発信規制や着信規制が行われることもあり得るので、なかなかつながらないことがあります。しかしなにより、携帯電話のシステムが被害を受けていないことが前提です。